

00 プロローグと催眠準備

あなたは今日、AV女優としてとある撮影に挑む女性です。
最初から自分がAV女優になったつもりで聞いてもらってもいいですし、そうでなくても構いません。
どちらであってもあなたは生意気なAV女優として、わからせSEXをされ完堕ちすることになります。
そう、あなたは大人になって直ぐソープ嬢として働き始め、その演技力と男性が喜ぶテクニックで、No1ソープ嬢になりました。
でも本当の性格は生意気で、お店に来る男性を「すぐに感じてイってしまう猿」と小バかにしています。

そんなあなたは、そのテクニックと演技力を買われ、AV業界からオファーを受けます。
持ち前のテクニックと演技で瞬く間に人気AV女優になったあなたですが、その生意気な性格とプレイ相手を小バかにする態度で業界内で恨みを買い始めます。
そしてついに、わからせSEXで絶対的強者に負け、女の体は快感に勝てないことを叩き込まれます。

あなたは指定された撮影場所に向かい、プレイ相手が現れるまで、ショーツ一枚でベッドに横になって待つよう指示されます。
さあ、この音声を聞いているあなたも全裸又は薄手のTシャツなどを着て、ベッドまたはソファなどに横になって待ちましょう。
そして、軽くブランケットをかけてもいいですし、何もかけなくても構いません。
寒くないようにしましょう。
準備はいいですか？
横になったらゆっくりと深呼吸をしながら、全身の力をスーッと抜いてゆきます。
何も考えず力を抜いていく、全身から力が抜けて気持ちが楽になる。
そうですね、目はゆっくり閉じて下さい。
いいですよ、その調子でリラックス、リラックス。

それではAV女優としての使命を全うして下さいね。
ただし、そう出来ればの話ですが…。

01 撮影準備（催眠誘導・深化）

私の名前はレイナ。
私の事を知らない男なんているのかしら？
自分で言うのも何だけど、AV女優になる前は5年連続ソープ嬢としてNo1に輝いて、「予約1年待ちの伝説のソープ嬢」として、この業界では有名な存在だったのよ。
そんな私がどうしてAV女優になったのかって？
そうね、まあよくある話で、お客さんとして来てくれたAV監督から何度もオファーがあったので引き受けることにしたの。
君ならその美貌とその体、そして妖艶な演技で必ずAVでもNo1になれるから、是非出演して欲しいって。
まっ、当たり前よね そんなこと、男が喜ぶことなんて百も承知なんだから！
デビューしてから歴史を塗り替える売上を記録して、この業界でもNo1になったのはご存じの通り。

ソープの時とやることは変わらないわ、あんあん喘いで、おまんこでおちんぼ絞め上げれば、どんな男優でも泣いて射精するんだから、ほんと男って単純よね。
へこへこ腰振っちゃってバカみたい！あはは！単純で腰振るだけの低能猿 なんだから！
あ、本当の事言っちゃった、私、撮影でもこんな事言うから監督に怒られるんだよね。
この前なんか男優のことバカにしたら、その人本気で怒っちゃって「この後、お前をイカセまくってやる！」って息まいてたけど、
あんあん喘いで見つめ合いながら、乳首カリカリっ！てしてあげて、おまんこ締めあげたら5分もしないうちに射精しちゃった！
ほんとザコちんぽよねえ。
終わってから「ちんぽだけで生きてるクソ雑魚男！」って罵ってやったわ。
その男優さん、顔真っ赤にして怒ってたけど、監督に「5分もたたない内にイクなんて、撮影にならない！」って怒られてたわ。
当然よね、何のために撮影に来たのかしら、ほんと男ってみんなバカばかり！

それで、今日はこの撮影スタジオに来たんだけど、相手役が来るまでベッドにショーツ一枚で横になって待つように言われたのよね。
ショーツだけで待つ必要なんてないと思うんだけど、まあ、どこかで撮影されてるかもしれないし、何かのテストかもしれないから、そうするけどね。
そして、プレイ相手が来たら、お互い何処が性感帯なのか確認しておくように言われたのよ。
でも、ちょっと待って、それはないよね。
どうして自分の弱い所を曝け出さなきゃいけないのよ！
ソープでもそうなんだけど自分の弱点は、絶対に知られちゃダメでしょ？
仕事なんだから、本気で感じたら負けじゃない！

でも、AV女優の中には本気で絶頂してる子がいるみたい。
ほんとと、そんなのあり得ない！プロ失格もいいとこよ！
だいたい、自分の弱い所知られてどうするのよ。
そこを見せないようにしてこそプロの女優ってもんでしょ？
まあいいわ、自分が気持ち良くなって、演技が出来ない子は結局反応が短絡的ですからすぐに飽きられるんだから。
私はそんな女じゃないわ。
どんな責めをされても、男を魅了する演技とプレイをするだけ。
でも、中には凄腕の人も何人かいるみたいね。
同僚のミクが言ってたけど、女の弱点を完璧に捉える人がいて、その人との絡みだけは本気で感じてしまうみたい。
まあ、SEX経験の浅い子なら仕方ないかな？
私は自分の弱みは絶対に見せない。

そりゃあ私だって女だから乳首もクリトリスもヴァギナも気持ちいいけど、気持ち良くても絶対に知られないようにしているわ。

この業界に入って直ぐに、同僚に色々教えて貰ったの。
自分の感じる所だけは絶対に知られちゃいけないって。
でも、それって杞憂だったわ。
知られるも何も、男って自分が気持ち良くなることしか考えてなくて、前戯は御座なりだし、ちんぽ入れたいだけの生き物だってわかったのよね。
とにかく射精さえ出来れば何でもいいみたい。

ほんとバカ！

男優も結局はそれが一番の目的ってわかったわ。

だから、こっちがおまんこ締め上げて責めてあげたら直ぐに射精しちゃうんだから！

あはは！それでいつも「撮影にならない！」って、男優が監督に怒られるんだよねえ。

私、男優が監督に怒られてる所見るの好きなんだ。

監督だって男なのに、猿が猿を叱ってるみたいで、超ウケるんですけど～！

それで私が「猿が猿、叱ってる。」って突つくと、「レイナも撮影なんだから、ちゃんと感じてるフリをしろ！」って怒るんだよね。

は？なんで私が監督に従わなきゃいけないのよ、私が決めることでしょ、男優をいつイカせるかって。

仕方ないから、2回目は渾身の演技で最後の最後にちんぽから精液絞りにとってあげるんだけどね。

男優が、もうダメ！マジでイキそう！って言いながら大量にキモい精子吐き出すの見るのが私の楽しみ。

でも、それで終わらないのが私。

イッた後のちんぽをフェラチオして鬼頭を舐め回すと「やめッ、それヤバい！ウッ！」って言いながら潮吹くんだよねえ。

あはは！男の潮吹き最高！それでも辞めずに舐め続けると、情けない顔して「もうやめて下さい！」って懇願してくるの！

ほんと男のくせに情けない！

だから低能雑魚ちんぽ猿って言われるんだよ。

あ、ごめんごめん、また本当の事言っちゃった。

さっ、撮影の準備準備。

監督に言われたように、ベッドに横になって、深呼吸しながら体の力を抜くんだよね。

ふーん、ココに書いてある通りにすればいいんだ。

どれどれ、まずはベッドで仰向けになって軽く深呼吸するのね。

吸ってー

吐いてー

吸ってー

吐いてー

吸ってー

吐いてー

うん、確かにさっきよりは落ち着いたかな。

次は、3秒ほどグーっと全身に力を入れて、パッと力を抜くのを3回繰り返す。

まずは1回目

手足に意識を向けて、グー、グーッと力を入れて、サッと力を抜く、手足の力がスーッと抜けて体がぼわーんとしてくる。

2回目

再びグーッと全身に力を入れる、次は体全体に意識を向けて、グー、グーッと力を入れて、サーッと力を抜いていく、全身の力がスー、スーッと抜けて体がふわーっと軽くなる、気持ちが落ち着いて、さっきまで興奮していた自分が嘘のように心が落ち着いてくる。

最後の1回は頭の先からつま先まで、グーっと力を入れるのね。
頭の先、額、ほっぺた、体全体、手足の指先まで、グー、グーっと力を入れて、はい！スーッと力を抜いていく、口が半開きになり、もう全身の力が完全に抜けて、ほんと気持ちいい、体がベッドからフワッと浮いたような感覚、心も体も心地いい。

うん、これほんと、落ち着く、でもちょっと眠いなあ。
それで次はどうするんだっけ？

子供の頃にあった嫌な事、嬉しかった事を思い出す？
何これ？撮影と関係あるのかな？
まあいいや、このままだと寝ちゃいそうだから、あの時のことを思い出そう。

あれはまだ私が男だった時、幼馴染の漑とお医者さんごっこをしたんだよね。
あの時だと思う、初めて自分が男で、女じゃないって意識したのは。
「あれ？レイナちゃんのここ、何か付いてるね、漑のここはツルツルだよ、ほら、おしっこ
の穴、この中にあるの。」
「レイナちゃん、おしっこどこから出るの？この先っぽから？あ、レイナちゃん男だったんだ。」
あの時の衝撃は今でも忘れられない。
ずっと自分は女の子だと思っていたのに...。
可愛い服が好きで、お人形さんも好きで、何よりも女の子同士で遊ぶのが当たり前だと思っていたのに...。
漑は、今どこで何をしてるのかなあ。
あの後すぐ、親の転勤で離れ離れになっちゃった...。

それで、漑だけは私の事を女の子として接してくれたんだよね。
引越しの日、私は漑に自分の一番大切にしているお人形さんをプレゼントしたんだ。「漑ちゃん、これを私と思って、向こうでも仲良くしてね。」って。

漑は私に「これ私が一番大切にしているハンカチ、これをいつも持っていてね、私達いつまでも友達だよ。」って言ってくれたんだ。

漑、今どうしてるのかな？きっと可愛くて美人な女性になって、素敵な旦那さんと結婚してるんだろうなあ。

今日もあの時のハンカチ、持ってきてるよ、一度も使わず、ずっとカバンの中に入れてるよ。

漑、私の事を女の子として認めてくれた唯一の人。
今、どこで何してるの？

会いたいよ、女になった私を漑に見て貰いたい、そして、またお医者さんごっこして「レイナちゃんとココ同じだね。」って言って欲しい。

うん、ちょっと、目、覚めてきたかな。

それで漑と離れ離れになってからは、私、自分の心が女だってことを隠して生活してたの。
あの時はつらかったな。

ずっと、早く女になりたいって思ってた。
同世代の男はバカみたいに「あの子で抜いた！」とか「アイツとならヤレる！」みたいな話ばかりで、ほんと自分が男だってことが嫌で嫌で仕方なかったんだよね。
あの時かな？
私、絶対女になるって決めたのは。

うん、だいぶ、目、覚めてきた。
それで、次はどうするの？

えっと、今度はうつ伏せになって枕を胸の下に引くのね。
そのまま目を瞑って、自分がマッサージを受ける所を想像するんだ。
ふーん、この順番で、圧迫マッサージを受けると...。
目、瞑るから、順番、覚えなくちゃ。
ふんふん、やってみよう。

まずは脛脛を手の平でグーッと押さえられている所を想像する。
両方の脛脛をグーッと押さえられて気持ちいい、グー、グーッと押さえられ、さっと手を離されると、両脛脛の力がスーッと抜けていく。
もう一度、グー、グーッと押さえられているところを想像する。
そして、サッと手を引かれると、膝から下の力がスーッと抜けていく。
うん、想像するだけなのに凄く気持ちいい。
次は両太ももの裏を両手でグーッと押さえられ、スッと離される。
手が離れた瞬間、スーッと太ももの力が抜けて気持ちいい、脚がフワッと軽くなる。
もう一回、両太もものをグー、グーッと押されてから、スッと力を抜かれた瞬間、両脚からサーッと力が抜けて心地いい、脚の力が完全に抜けてだらーんとなる。
あ、これ、ほんと力が抜けて、脚に力が入らない。
想像するだけなのに、凄い効果あるんだね。
次は、お尻かあ。
お尻を両手で軽く掴むようにグーッと押さえられ、スッと手を離される。
腰から下の力がスーッと抜けて、ほとんど下半身を動かせないくらい力が抜ける。
もう一度、お尻をグー、グーッと押さえられ、スーッと両手を離される。
お尻の力がスー、スーッと抜けて、気持ちいい、また眠くなってきた。
次は腰。
腰を両手でグーッと押さえられる。
そして、スッと力を抜かれ、腰の力がサーッと抜けていく。
腰から下の力が入らない、上半身しか動かせない。
最後は背中。
背中全体を両手でグーッと押さえられ、スッと手を離された瞬間、首から下の力がズーンと抜けていく、もうこのまま寝てしまいたい。
首から下の力が全く入らない、でもそれが心地いい、体の力が完全に抜けて頭から下がベッドの底に沈んでいく感覚。
心地いい
心地いい
凄く眠い、眠い。

えーっと、このあと、どうするんだったかな？
うーん、仰向けになるんだったよね。

でも、力、入らないよ、どうやって仰向けになるの？
そうだ、マッサージしてもらった人に仰向けにしてもらった。
仰向けにされる所を想像すると、自分では力を入れた感覚が無くても仰向けになれるんだ...。
肩と腰を掴まれて、ぐるりと仰向けにされる。
あ、ほんとだ、仰向けにされちゃった。
想像の力って凄いね、体に力が入らないのも自分で思い込んでいるだけなのかなあ。
でも、眠いのは本当に眠いよ。
このまま寝ちゃいそう...。
そうだ、眠らないように、性転換手術を受けるまでと、その時の様子を思い出そう。

02 性転換するまでと性転換手術（女体化・女体化定着）

私が性転換手術を受けたのは、まだ体が男になりきっていない時。
手術って言っても、病院で注射を一本打つだけだね。
その当時から遺伝子レベルで性転換する薬が出来ていて、私はそれを使うことにしたの。

痛みは全然無くて、どんな風に性転換していったのか、今でもハッキリ覚えているわ。

まずベッドに横になって深呼吸をする。

ゆっくり息を吸って、フーッと吐き出す。

スーッと吸って、フーッと吐き出す。

そして、気持ちが落ち着いた所で麻酔と性転換薬を混ぜた注射をされる。

1分も立たない内に全身の感覚がなくなったわ。
でも、触れられる感覚だけはあるの。

それで、遺伝子レベルで女性にされると、今までの変化が一気に現れるのが凄く不思議。

胸を見ていたんだけど、まず乳首が膨らんで女性並みに大きな乳首になるの。

看護師さんに両方の乳首を軽く摘まれ、コリコリされたんだけど、もうそれだけで凄く気持ち良かったの覚えてる。

「ちゃんとした乳首になってますよ。」と言われながら捏ねくり回されて、思わず声出しそうになったけど、なんとか我慢したのよね。

そうしていると、どんどん両方の胸が膨らみ始め、胸が重くなるのを感じたわ。

ほんとメロンが二つ胸に乗ってるくらいの重さなの。

看護師さんに両方の胸を揉まれると、水風船が胸の上で揺れる感じがして、それがジワーっと気持ちいいんだよね。

あれは自分が女ってことに酔いしれる気持ち良さでもあるのよね。

胸に気が向いて気付かなかったけど、お肌は白く艶々になっていたし、髪の毛も肩まで一気に伸びていたわ。

ほんと遺伝子レベルで女になるって凄いよね。

胸の変化が終わると、いよいよ男性器の性転換が起こり始めたわ。

最初は前立腺が子宮になるんだけど、その時は何となくお腹の下の方がズーンと重い感じしかなかったのよね。

そして、ペニスがどんどん小さくなって、感覚が全く無くなったの。

あるのは睾丸の感覚がほんの少しある程度。

それも直ぐに失くなって、睾丸が体内に入ってくるのをハッキリと自覚したわ。

その感覚は今でも鮮明に覚えてる。

最初は、多分、左の睾丸が入ってきたと思う。

その感覚ってアナルに坐薬を入れられる感覚ってあるじゃない、あの感覚なの。

もちろん、アナルに入ってくるんじゃなくて、膣穴を作るために入ってくるんだけどね。

バギナの入り口がグーっと押し広げられ、それが膣の中を登ってくるの。

ああ、おちんぼ入れられる感覚って、こんな感じなんだと感動したわ。

どんどんバギナの中を登ってきて、睾丸が子宮の入り口まで辿り着いたら、そこをこじ開けられて、更に中に入ってくるのよ！

痛いような、気持ちいいような、あの感覚は男には絶対分らないでしょうね。

私、思わず、あー！って声出しちゃった。

子宮の中を睾丸が通る感覚もハッキリ覚えていて、子宮自体は口の中とかアナルと同じ感覚だけど、そこに繋がる快感神経に振動が伝わってお腹の中が気持ちいいの。

ああ、これがボルチオの気持ち良さなんだと思ったわ。

左の睾丸が左の卵巣になって、それが終わると右の睾丸がバギナに入ってくる。

今度は膣壁を擦られながら入ってきて、入口から3、4cm入った所でバギナの上側をグリグリされた瞬間、ブワ！とした快感が全身に広がって、私ほんとビックリしちゃった。

だって、まるで射精した時の気持ち良さだったんだよね。

え？これGスポットだよね、ここ刺激されると射精する時みたいに気持ち良いんだ。

そしたら、今度は子宮の入り口で睾丸がグリグリ動くの。

ドン！っと奈落の底に突き落とされるような感覚がして、思わず「ああ！」って軽く叫んじゃった。

でも、その落とされる感覚の中に性的な快感が混じっていたことも、私は感じていたわ。

え、ちょっと待って、今、麻酔効いてるんだよね、これ麻酔解けたら、もっと気持ちいいんじゃない？

嬉しさよりも、女の快感の凄さをこれから体験するんだと思うと、ちょっと怖くなっちゃった。

だって、男の快感とは比べものにならないくらい気持ちいいって体で解ったからね。

その頃には麻酔が切れてきて、胸の重みと、股間に何も無い感覚をより一層自覚したわ。

股間がスースーして、何も無いって、ほんと気持ちいいよね。

これでビキニを着て海に行けるし、ピタパン穿いて街を歩けると思うと凄く嬉しかった。

私、本当に女になったんだ。

嬉しい。

泣けるよね。

家に帰って、鏡で全身を見たら、そこには可愛くて美人で、スタイル抜群の女性が映っていたわ。

これが私？

こんなに綺麗で可愛いんだから、きっと素敵な旦那さんと巡り合って、幸せな結婚生活を送るんだろうなあと思ったのも束の間。

でも、現実は違っていた。

男はみんな私をSEXの対象としか見なかった。

最初は優しくしてくれても、体を許すと直ぐに横柄になって、そして浮気する。

SEXだって自分が気持ち良くなることばかりで、私がどうされると気持ちいいか全然わかってくれない。

一度だけ、当時の彼にバキュームフェラしてあげたら、半泣きしながら射精したんだよね。

そして、「こんな気持ちいい射精は初めてだ、これからもこんな風にして欲しい。」って頼まれたの。

私、彼が喜ぶなら、またしてあげてもいいかな？と思ったんだよね、でもその彼、陰で浮気してたの！

ほんと最低！

男って何であんな馬鹿ばかりなの！？

もう直ぐ卒業なのに、私、どうすればいいの？

社会人として生きていく自信ないよ。

それで、私が出した答えがソープ嬢として働くことだった。

男が喜ぶポイントを全て知っているんだから、ソープ嬢として働けば稼げるんじゃないかって。

その予想は見事に的中して、あっという間にNo.1ソープ嬢になったわ。

【対ふたなり用、ここから】

あ、これは余計な話だけど、お客さんでふたなり女性も来るんだよね。

見た目は女なのに、体の反応と考えてることは男そのものでビックリしちゃった。

ふたなりでもちんぽついてたら、それに脳も体も支配されるんだね。

【対ふたなり用、ここまで】

あ、スタッフが先に来たのね。

03 初顔合わせ ～私がこんなに感じるわけじゃない！～

「初めまして、今日はよろしくです。」＜初めまして、今日はよろしくね＞

初めまして。

あなたが今回のお相手かしら。

＜フタナリとは予想外だけど、まあ、いいわ。＞

で、今日はどんな絡みなの？

まずはお互いの性感帯を確認するって？

そんなことしなくていいわよ。

男の性感帯なんてちんぽしかないし、女は乳首とクリトリスとバギナでしょ。＜ふたなりの性感帯って、結局はちんぽでしょ。＞

いちいち確認する必要なんてないわよ。

そうじゃなくて、その中でもどこが気持ち良くて、どんな風にされるともっと気持ちいいかって？

は？そんなの絡めばわかるでしょ？

それが解らないなら男優失格じゃない？＜それが解らないなら女優失格じゃない？＞

それで、今日のプレイ内容は？

男をバカにしていた女が、わからせ SEX で快樂地獄に堕ちて完全敗北する？

何、それ！？

私への当てつけかしら？

それに、その陳腐なストーリー、上手く考えたつもり？

監督もこれなら私がきちんと演技するだろうと思ったのかしら？

まあいいわ、最初の挿入で5分もしない内にあなたの精液絞り取ってあげるから。早すぎる！バカ野郎！って監督に怒られないようにせいぜい頑張りなさい。

何？今日は最後しか入れないの？

ローターとバイブだけで私をイカせまくって、入れるのは最後のトドメだって？

あはは！面白いわね！やれるもんならやってみなさいよ！

ん？何この動画、これから私もこうなるって？

そのダイジェスト動画？

ハアハア

何なのよ！これ、こんなの気持ちいいわけな！

あっ！何？あっあっ！

アッ！イク！もうダメ！イク、イク、イクーーーー！！！！
もうイってる！イってるってばあー！あ！またくる！イク、イク、イクーーーー！！！！

もうやめて...、もうイケない...！ダメ、また来る！
イ、イクーーーー！！！！

なんで許してくれないのよお！もうイケない！怖い！もう許して、、お願い、許して、アッ！
ダメ、またイク！イク、イク、イクーーーー！！！！

うう、許して、、中に出してもいいから、
あっ！もうダメ！やめて、これ以上イケない！いや！あっ！あっ！あぁー、出して！中
に出して！イク、私イク、イク、イク、イクーーーー！！！！

え、何なの？この女、、本気でイってる。

あ、この人、あの有名女優だよね、私が見た動画は全部完璧な演技だったのに...。
どうして、ここまで堕ちちゃったの...。

媚薬？違う、あんなものは都市伝説。
拘束されてるから？ううん、拘束されても弱い所をほんの少しずらせばいいだけ。

え？微妙にずらしてる...。
でも直ぐに弱い所責められてる...。
弱点、全部知られたんだ...、しかも一番感じてしまうやり方まで晒け出してる。

あ、、深イキしてる、全身小刻みに痙攣しながら漏らしてる。

「君もこうなるんだよ。」＜あなたもこうなるのよ＞

な！何！？私がこんなになるわけじゃないじゃない！

私の弱い所、見つけられるもんなら見つけてみなさいよ！

「動画見ながら感じてたよね。」＜動画見ながら感じてたの、私知ってるわよ＞

そ、そんなはずないでしょ！

「本当はボロボロになるまで感じたいんだよね。」＜本当はボロボロになるまでイカされたい
んでしょ？＞

ちょ、何なの？勝手に決めつけないで！

「君は必ずそうなる、身も心もズタズタにしてあげるね。」＜あなた、必ずそうなるわよ、身
も心もズタズタにしてあげるわ。＞

「一度快樂地獄に堕ちると、もう這い上がることは出来ないよ。そして、次のプレイでも、
その時の快感を体が思い出して、もっと滅茶苦茶にされることを望むようになるからね。」

<一度この快感を経験すると、もう這い上がることは出来ないわよ。そして、次のプレイでも、その時の快感を体が思い出して、もっと滅茶苦茶にされることを自ら望むようになるわ。
>

フフッ、たった一回の絡みで私の何が解るって言うのよ、いつもと違う反応をどうやって見分けるのよ。

そうやって最初に煽るのも監督の狙いかしら？

私は彼女みたいにならないわよ。

どう？もし私を一度でもイカせることが出来たら、次の撮影もあなたを指名してあげる。

私が勝ったら、二度とあなたと絡むことはないわ。

監督、あなたもよ、わかった？！

でも、あの人、本気で感じてたよね。

なんで弱点知られちゃったんだろう？

04 スペンス乳腺責め・乳首責め ～え？私、イッたの？そ、そんな・・・～

ん？

絡み中は喘ぎ声禁止で、快感を否定するセリフはOK？

まあそうよね、わからせSEXなんだから最初は抵抗しないとね。

で、どのタイミングで喘ぎ始めればいいわけ？

ずっと禁止？

え、喘いだら私の負け？

それなのに喘いじゃう私を撮影する？

ふん！いいわよ、そんなんじゃ撮影にならないけど知らないわよ。

え？「やめて下さい、やめなさいよ！」みたいな、依頼も命令も禁止？

ったく～、そんなんじゃ、どこが終わりかわからないじゃない！

もう！夜は友達とごはん食べに行くんだから、6時までには終わってよね！

ん？プレイはあの拘束椅子で？

まあ、わからせだから仕方ないか。

太ももと脛脛を固定され、手首も縛られる。

ふん、これで私がイカなかったらどうするのよ！

後ろに回られて、プレイ相手の両手で横乳と下乳をゆっくり揉まれるの、これ、初めてかも。

ふーん、わからせSEXなのに、そんな周りくどいことしてていいのかしら？

じんわり脇腹から横乳へ向けて手の平で指圧マッサージされ、そのまま下乳を4本の指、横乳を親指でゆっくり揉み解される。

ちょっとくすぐったいかな？

それを何度も何度も繰り返される。

ん？なんか乳首ゾワゾワするんだけど？

揉まれているのに体に力が入って、次に揉まれるのを拒んでみたい。

え、うそ、乳首勃ってる、しかもピン立ちしてる。

こんなに勃起したの初めて、やだ、私、感じてみたいじゃない。

もしかして、これってスぺンス乳腺責め？

何度も何度も脇から胸の横を通して下乳と横乳を揉み解される。

揉まれる度に何かを拒否するかのように体に力が入ってしまう。

そして、乳首がピンと立ってゾクゾクする、

同時に横乳を乳首に向かってグイッと親指で押し込まれると、先端がピクンとなるのを自分で抑えられない。

ちょ、何これ？私感じてるの？そんなことない。

「乳首立ってきたね。」＜あら、乳首立ってるじゃない＞

揉まれれば揉まれるほど体が強張り、何かに耐えようとしているのが自分でもわかる。

乳首のゾワゾワ、ピクンピクンが止まらない。

やだ、私感じてなんかいない。

「ん？ショーツ濡れてきてる。ここがクリトリスかな？」＜ん？ショーツ濡れてるじゃない。これ、クリトリスかな？＞

何なのよ！そんなのタダの生理現象でしょ！

そんなはずない、そんな、う、これ、なんか変だよ。

今日の私、なんかおかしい、いつもと違う。

揉まれる、どんどん揉まれる。

乳首のゾワゾワ、ピクンピクンが止まらない。

あ、やばい、口 半開きになってきた…。

どんどん揉まれる。

揉まれれば揉まれるほど、体は強張るのに、口は半開きになっていく。

やだ、唇がぷるぷる震えてる。

なんなのよこれ、アッ、声出ちゃいそう。

「体、硬くなってるね。もっと揉み解さないかね。」＜あら、体硬くなってるわ、もっと揉んであげましょね。＞

ダメ、これ以上されたら、私、喘ぎ声あげそう、やだ。

プレイ相手に最初から同じペースでスぺンス乳腺を揉まれ続ける。

え？乳首、ビクッて疼くんだけど、こんなんで抓られたら確実に声上げちゃうよ。

そう思ったのが相手にバレたのか、乳房を揉まれながら乳首に親指と人指し指が近づいてくる。

乳首がビクッと反応して、何かを求めているのがわかる。

あ、やめ！

へ？

アソコ…。

アソコが今、キュンってした…。

更に乳首に近づいてくる。

股間がキュン、キュンと疼く。

うそ、おまんこキュンキュンしてる…。

乳首がビクッ、ビクッと疼き、股間のキュンキュンが止まらない。

「あれ？ショーツのシミ、大きくなってない？クリトリスの形丸見え。」＜あら？ショーツのシミ、大きくなってない？クリトリスの形丸見えよ。＞

だから生理現象って言ってるでしょ！私が感じるわけないんだから！

その瞬間、両乳首をグリッと摘まれる！

乳首から全身に快感が電流のように広がり、無意識に唇がブルブル震え、太ももがガクガクと痙攣する。

ウッ！と口を閉じ、直ぐに「あっ！」と半開きになり、瞬きせず中空を見つめる。

い、今の何？乳首でこんなに感じたの初めて…。

再びグリッと摘まれた瞬間、ビクンと全身が痙攣してウッと体が硬直し、硬直が溶けないまま乳首をグリグリと捏ねくり回される。

その間、体は硬直するのに、唇はブルブル震え、太ももがガクガク痙攣して止まらない。

無意識に足首が回転して、足がくるくると回る。

止まらない！全身のガクガク、ブルブルが止まらない！

「今、軽くイッたよね、でも、声を出さなかったのはさすがだね。」＜今、軽くイッたでしょ？でも、声をあげなかったのはさすがね。＞

イッた？私が？今の乳首イキってこと？

うそ、乳首イキなんかしたことないのに…。

でも、体の反応は間違いなくそうだった…。

なんで？

どうして私をイカせることが出来たの？

な！何言ってるのよ！喘ぎ声も上げずにイクわけないでしょ！

「否定しても体はイってたよね。あ、なんで君をイカせることが出来たのかわかる？」＜あら、認めたくないの？でも体は正直よね。どうしていとも簡単にあなたをイカせることが出

来たのか不思議でしょ？」

だから、イってないって言ってるでしょ！

「僕の顔、覚えてないの？もう君の弱点全部知ってるよ。」<ん？私のこと覚えてないの？もうあなたの弱点、全部お見通しよ。>

あ！

あの時の…。

え？あのプレイで私の弱い所、全部分かったって？

そういえば、あの時も同じように責められたけど、乳首とクリトリスへの愛撫は無しで終わったよね。

あ、あの時、このままされたらヤバいって本気で思った唯一のお客さんだった…。

「他の男優が君をイカせられないのは順番を知らないからだよ。」<今までのプレイ相手があなたをイカせられないのは順番を間違っているからよ。>

順番？何それ、笑わせないでよ！

「君の快感スイッチはスペンス乳腺なんだよ。自分では気づかないよね？スイッチが入っても少し複雑だけど、後は時間の問題。」<あなたの快感スイッチはスペンス乳腺なのよ、自分で気付かなかった？後は時間の問題ね。>

スペンス乳腺なんて都市伝説でしょ！そんなんで私がイクわけじゃない！

ス、スペンス乳腺が私のスイッチ？

はは、ちょっと感度が上がっただけじゃない。

再び胸を揉まれながら乳首をグリッと摘ままれる。

イッ！イキそう！ダメこれ、また体は硬直するのに唇がブルブル震え、脚がガクガク痙攣する！あ、これ、アソコがキュンキュンして愛液溢れてるよお、ヤ、ヤメ！イ、イクー！

「あーあ、ショーツ、びしょびしょになってる。おまんこイジメで欲しくなってきた？」<あら～、ショーツがびしょ濡れだわ、おまんこイジメで欲しいんですよ。>

な、何、言ってるのよ！さっさとすればいいじゃない！

ヤバい、このままだと私、喘ぎ声あげちゃいそう、それだけは耐えなきゃ！

05 クリイキ！～どうして私の弱い所がわかるの？～

びしょ濡れになったショーツを横にずらされ、おまんこが露わになる。

ほら、ここ見て、とモニターに映し出された自分の股間を見て思わず声を上げそうになった。

割れ目がくぱぁ〜と開いて、クリトリスは赤く充血し、バギナの入り口がヒクヒクと痙攣している！

こ、これが私のおまんこ…。

今までこんな熟れたおまんこ見たことない。

これ、入れて欲しいってこと？

クリトリス、イジメて欲しいってこと？

そんなはずない！

乳首イキしただけで、SEXして欲しいなんて思うわけない！

「まずはクリで軽くイってもらうね。」＜まずはクリで軽くイってもらうわよ＞

皮を被ったクリの上から、人指し指でクリを軽く押し込まれるように愛撫される。

押し込まれる度に、ジンジンと体中に快感が走り、それに耐えるかのように体が強張る。

な、なに？いつもと全然違う、き、気持ちいい、ああ、いい、こんな気持ち良さあったんだ。

同じようにクリの周りをゆっくりと円を描きながら、そして、その根本を内部に押し込まれるように愛撫される。

押し込まれる度に、ジクジクと体が疼き、ジーンと甘い快感が体中に広がる。

口が更に半開きになり、目がうつろになっているのが自分でもわかる。

は！私、何酔ってるのよ！ちゃんと演技しなきゃ！

ちょっと、そんなんじゃ全然気持ち良くないわよ、何そのテクニック！

プレイ相手は私の言うことを意に介さず、クリトリスの根本へのマッサージを続けていく。
演技であんなこと言ったけど、自分でもわかる、このままされ続けたらイっちゃうってこと。

もう体が言うことを効かない、クリを刺激される度にジンジンと体中に快感が走り、股間がキュンキュン疼く。

体に力が入り、絶頂の衝撃に耐える体制に入っている。

ジンジン、キュンキュンと体中に快感を流し込まれる。

あ、それダメ、私、もうイキそう。

私の反応を読み取ったのか、クリの根本を摘まれ、乳首と同じようにグリッと抓られた！
その瞬間、ズン！と胸元にかけて快感がせり上がり、無意識に上半身が仰け反る！

イ、イクッ！

そのまま、グリグリとクリをこねくり回される。

また、イクッ！

上半身が更に仰け反り、太ももがガクガク痙攣する！5本の足の指が反り返り苦しそうにもがく！

唇がブルブル震え、喘ぎ声を上げそうになるのを必死に耐える！

「イッたね、気持ちいいのはここまでだよ、この後は快感地獄が待ってるよ。」＜イッタのね、でも気持ちいいのはここまでよ、この後、快感地獄が待ってるわよ＞

イってないわよ！演技に決まってるじゃない！

そう言い返すことだけしかできなかった、自分でもわかっている、ローションも付けていないのに、おまんこがドロドロになっていること。

愛液が溢れ出し、早くおちんぼ入れて欲しいって、おまんこ疼いていることも。

何なのよ、これ、こんなの私じゃない…。

これが弱点なの、私の弱い所…。

なんでわかるの、私の弱い所…。

それに、乳首イキもクリイキも自分から絶頂しにいつてる。

イ、イクーって、イクー！がスイッチになっちゃってる。

うん、勝手に絶頂スイッチが入っちゃう。

体が無意識に反応して、イカされてる…。

これがイクってこと？もう完全に主導権握られてるじゃん…。

でも私負けない！喘ぎ声上げずに最後まで耐えてみせる！

ふっと脳内に動画の女優が喘ぎまくっている光景が浮かぶ。

私もあんな風になるの？

やだ、あんな弱点さらけ出した姿見せたくない、私ならない、あんな風にならない！

06 クリトリス連続絶頂～ダメ！そこダメ！そこ弱い所なの！

「さあ、今から君の弱い所、全部責めてあげるね。」＜じゃあ、今からあなたの弱い所、全部責めるわよ＞

何よ弱い所って！

「あ、知らないんだ。そこ責められたら何度でも絶頂させられる泣き所。」＜知らないの？そこを責められたら何度でも絶頂させられる泣き所よ。＞

そんなのあるわけないでしょ！

え？乳首とクリトリス、同時に責めるって？

やだ、そんなことされたら声出しそう…。

今から弱点の中の弱点を責める？
また、そんなウソ言って私を怖がらせたいわけ？
そこ責められたら、喘ぎ声、絶対押さえられないって...？

何、弱点の弱点って、、もっと感じる部分があるわけ？
あっ、、
だ、だから、、あ、あの女優さん、ボロボロに、なっ、たん、だ...。
もう完全に壊されてたよね、あの人。
私もあんな風になるの？
やだ、 怖い、

ウィーンと電動ブラシのような音が響く。

あ、この音、私の弱いやつかも...。
この音聞くだけで、どんどん気持ち良くなって軽くイクんだよね。
昔これに嵌って、今でも体が覚えてるみたい。
振動数が上がると体がガクガク痙攣して自分でも止められなくなるし、これヤバいかも...。
でも、なんで私が弱いってわかったの？

何なのよ、それ、

「クリトリス責め用に作られた細パイプだよ、こんな小さな先っぽに君は壊される。体全部がクリトリスになって、心も体もグチャグチャになるからね。」<クリトリス責め用に作られた細パイプよ、こんな小さな先っぽにあなたは壊されるの。体全部をクリトリスにして、心も体もグチャグチャにしてあげる>

そ、そんなのあり得ない！
へ？それが弱い所を責められるってこと、、？
普通はそうならない、スイッチを入れられ、隠された順番でイカされた女しかない？
後は弱点をひたすらイカせ続けるって？

「そうだよ、女がどんな風に壊れるか知ってる？
最初は「やめてよ」って言うんだよね、それから今みたいに「やめなさいよ！」って命令口調になるんだけど、それを握り潰されたら、次は懇願するんだ。それも踏みにじられ、全部の弱点でイカされ続け、終にはイク恐怖さえも蹂躪され、最後は絶対的強者に屈服させられる。」

<ねえ、女がどんな風に壊されるか知ってる？
最初は「やめてえ」って言うの、それからさっきみたいに「やめなさいよ！」みたいに命令するんだけど、それを握り潰されたら、その次は「やめて下さい...って懇願してくるの、それも踏みにじられ、全部の弱点でイカされ続けて、イク恐怖さえも蹂躪されて、最後は絶対的強者に屈服させられるのよ。>

う、うそ、そ、そんな...。
弱点って何よ、壊れるって何よ、乳首もクリもそうに決まってるじゃない。

その中でも一番弱い所？

針の先ほど狭いポイントだけど、そこを責められたらぶっ壊れてしまう？

もうそれがどこかわかったの？

そんなのないよ！自分でもそんな所知らないのに！

「あっと、ショーツ元に戻ってる。この上からでもいいけど、やっぱり直に当てないとね。邪魔だからハサミで切るね。」＜あら、またショーツ元に戻ってるわね。この上からでもいいけど、直接当てないとね。ここ、邪魔だからハサミで切るわよ。＞

ギンギンに勃起した皮の剥けたクリに細バイブが近づいてきた。
ピタッと先端に張り付いた瞬間、キーンと体中に快感の閃光が走る。
アッ、これ感じる！

「これをゆっくり中に押し込んであげる。」＜これをゆっくり中に押し込むわよ＞

キーン、キーンと体中に快感を流し込まれたまま、バイブを中に少し押し込まれる。
グューンと鈍い快感におまんこの中を捏ねくり回される。
イッ！と軽く声を上げてしまい、体を硬直させながら、脚の痙攣が止まらない。
はあ、これダメ！もう、イキそう…。

不意にピーンと振動数を上げられ更にグッと押し込まれる！
イッ！イク！唇がブルブル震え、体が硬直する、脚がガクガク震え、足首が無意識に周り出す。
イッて！もうイってる！！
更にピーンと振動数を上げられる。
全身に快感の閃光が走り、上半身が仰け反る！
イッ、イってる！もうイってる！
クリに当てられたバイブが離れない。
イヤ！やめて！もうやめて！
体の硬直が止まらない！どんどん体に力が入り更に上半身が仰け反る！
イッたまま降りられない、なのに快感を無理やり押し込まれ、また絶頂させられる！
イ、イ、イクー！
脚がガクガク震え、脚の指をくばあと開き、足首をぐるぐる回し快感に耐える、唇はブルブル震え、今までにない絶頂に打ち震える。

心と体が無意識に、イ、イ、イクーと自分を絶頂に追いやる。

「このまま何度でもイクといい、壊れるまでイカせるよ。」＜このまま何度でもイキなさい、壊してあげる。＞

ヤ、やめなさいよ！

更に振動数を上げられ、グッとクリトリス内部に押し込まれる！
キーン！と鋭い快感が体中を一瞬で駆け巡り、一気に追い込まれる！

ダメ！そこダメ！弱いの！
イッ！ヤメ！それヤメて！
またイク！
イ、イ、イクー！！！
全身が仰け反り、脚がガクガク震えてとまらない！体は硬直したまま、首を上下左右にふって快感から逃れようとするけど、込み上げてくる絶頂の衝撃波に頭の中を打ち抜かれる！
もうダメ、声、抑えられない！
「あぁー！イクー！！！」

イヤー、やめて！もうヤメて！
イってる！もうイってるよー！！！ヤメ！

グちゅ！
バギナに指を入れられる！クリを責められながら、Gスポットを指でグリグリと捏ねくり回される！
ヒーッ！感じる！何これ！こんな快感初めて！
イイよぉー、これイイー！
またイク！私イク！
イ、イッ、イクー！！！
股間に冷たい感覚が走る、更にクリをバイブに押し込まれ、指でグチョグチョとGスポットを擦られる。体全部がクリトリスみたい！でも強すぎる！これ以上されたら私壊れる！

あぁー！ダメ！これ以上イケない！

ヤメて...、怖い、もうイケない、

「こんなの序の口、もっとイケ！」＜こんなの序の口よ、もっとイキなさい！＞
「最初の勢いは何処へやら、さあ、もっと壊れろ！」「あら、最初の勢いは何処にいったのかしら、さあ、もっともっと壊れなさい！＞

07 3点同時責めされ完全敗北寸前 ～もうイキたくない、許して・・・～

スッとバイブをクリから引き離される。

うう、声、抑えられなかった、
なんで私、こんなになっちゃったの...。
私の知らない弱点、なんで知ってるの...。
怖いよ、これ以上弱い所責められたら、私、本当に壊される...。

プレイ相手は無表情で、ズブズブと2本の指をバギナの奥深く入れてくる。

「だいぶ、子宮降りてきたけど、まだ足りないね。最後の仕上げはもっと君を壊してからだね。」<だいぶ、子宮降りてきたけど、まだまだね。最後の仕上げはもっとあなたを壊してからよ。>

やだ！まだするの？もう終わりじゃないの？

プレイ相手が鞆の中から、電動バイブを持ってくる。
カリが異様に高く、あれを押し込まれ、グイっと引かれたら内臓が飛び出るんじゃないかと思う。

「これと細バイブで、さっきよりも強烈なクリ責め・Gスポット責めするからね。」<これと細バイブで、さっきよりも強烈なクリ責め・Gスポット責めしてあげる>

言葉使いは丁寧だけど、言っている事は恐ろしく残酷。

「ついでに乳首も噛むね、泣いて喜ぶんじゃないかな？」<そうだ、ついでに乳首も噛んであげる、泣いて喜ぶんじゃない？>

無表情に呟かれ、更に恐怖が増す、やだ何この人、怖いよ。

こんな人に、なんで…。

どうして体は反応してしまうの？

やだ、壊れたくない、こんな人に負けたくない！

再びキーンと細バイブの音が室内に響く。

あ、これダメな音だ、さっきのこと思い出して、この音聞いただけでアソコがヒクヒク痙攣する。

クリに当たる直前、キーン！と今までにないくらい振動数が上がり、グリッ！と　　！
ウッ！

グイーンと唸るように快感が体内を貫き、「ああ！」と無意識に喘ぎ声が漏れる。

更に、グッとバイブを押し込まれる！

イク！これダメ！こんなの一瞬でイカされる！

イ、イ、イクー——！！

腰を突き上げ体を仰け反らす！腕と上半身が硬直して必死で快感に耐える！太ももが無意識にガクガク痙攣して拘束椅子をガタガタと揺らす！顎を突き上げ「イグー！」と絶叫し、口から涎が流れ出し耳元まで垂れる

細バイブを少し引かれたまま、高振動でクリを責め続けられる。

仰け反ったまま、鈍い快感を体内へ流し込まれ、軽くイッたまま戻ってこれない。

ズブリ！とカリ高バイブをバギナに入れられ、ピタリと止められる。

そして、グイッとバイブを上部に押し上げられる。

あ、そこGスポット！

しかも、何！そこ、カリで圧迫されるだけで最高に気持ちいい！

そこダメ！弱いとこ当たってる！
そこダメなの！やめて！それ以上されたら私イク！
そう思った瞬間、ブーンとパイプが振動し始める。
あ！それダメ！感じる！感じすぎる！
そんな、またイカされる！
そのまま振動を一気に上げられ、瞬く間に絶頂の階段を駆け上がる！
イク！これイク！
イ、イ、イクー——！！！！
顎がガクガク痙攣して、もう自分で何を喘いでいるのかわからない！プシャーっと潮が噴き上がり自分の顔に落ちてくる！全身が硬直痙攣して絶頂の爆風に耐える！戻れない、いったまま戻れない・・・。

こんなの耐えられないよ、もうイキたくない！

お願い、許して...。
もう許して...。
怖い、もうこれ以上怖いヤダ...。
なんでヤメてくれないの！

「だから、君を壊して完全敗北させるのが目的って言ったよね。そうだ、イク時は、イク、イク、イクー！って言うんだ、わかった？その方がもっと気持ちいいから。」<だから、あなたを壊して完全敗北させるのが目的って言ったでしょ。そうだ、イク時はイク、イク、イクー！って言いなさい。その方がもっと気持ちいいわよ>

もうヤダ！ヤメて！
私、そんなの言いたくない！
そこまで堕ちたくない！

【ここから連続絶頂ファイル】

今度は問答無用で高振動の細パイプをクリトリス内部に押し込まれ、カリ高パイプをGスポットに押し当てられる！

【再び高振動で細パイプをクリトリス内部に押し込まれ、】（連続絶頂用）

ああー！ヤメ！もうイク、またイク！
こんな！ヤメ！イッ！
イク、イク、イクー——！！！！
腰がガクガク痙攣して止まらない！足首をぐるぐる回し快感を逃そうと必死にもがく！全身を硬直させ、これでもかというくらい仰け反り、「イグー！」と絶叫する！
ヤメて！もうダメ！イッてる！もうイってるよー！（「イグー！」は押し殺したような感じで）

振動が止まらない！そのまま両方のパイプでクリとGスポットを高振動で責められ続ける！
全身がおまんこになり、体中が燃えさかる悪魔のような快感に犯される！
そのまま乳首をガリッと噛まれ、脳天に高压電流で撃たれたような快感が突き抜ける！

ああイク！

イク！イク！イクッ！

「あつ、」視界が中空を彷徨い、全身の力が一瞬フッ、と抜ける。

「失神させないよ。」＜あら、失神させないわよ＞

【「だから失神しないでよ。」＜ほら、失神しないの＞】（連続絶頂用）

両方のバイブの電源が落ち、再び意識が戻ってくる。

その瞬間、またバイブを高振動でクリとGスポットに押し当てられる！

一瞬で、またあの恐ろしい快感に犯される。

もうヤダ！ヤメて！ヤメてよー！

もうイケない！壊れる！私壊れる！

キーン、グイーンと再び体内を焼かれるような快感に襲われる！

もうどこが痙攣しているのかもわからない！

嫌だ！イク！私イク！

イク、イク、イクー！！！

足の指が全部攣って感覚がない、太ももをガクガク震わせながらビクッビクッ！と痙攣させる！涎が垂れ流し状態になり髪の毛まで濡らす！上半身と両腕をこれでもかというくらい硬直させ最後の抵抗を見せる！

ヤメ…。

もう…、ヤメ、テ…、)

【連続絶頂ファイル終わり】

バイブの電源が落ち、静寂が訪れる。

ぬぷっと2本の指がバギナの奥まで入ってくる。

奥の奥を指先でグリグリされた瞬間、下腹部内で何かが爆発し、電気ショックを受けたような快感が体中に走る。

な、なに、今の…。

「子宮降りてきたね、さあ最後の仕上げだよ。」＜子宮降りてきたわね、今から最後の仕上げよ＞

08 ポルチオ大絶頂で完全アクメ墮ち ～なか、中に出して！！～

バギナの入口にペニス先端が入ってくる。

ああ、気持ちいい、もうこんなに感じる…。

もの凄く太いから、こんなに入口 押し広げられるの初めて。

これ気持ちいい、凄い、感じる。

更に奥に向かって、バギナをこじ開けられながらペニスが入ってくる。

ああ、奥、奥も気持ちいい！
そ、そこ、Gスポット！当たってる！弱いところ当たってる！
ダメ、それダメ！
更に奥に入ってくると思った瞬間、グィッ！と入口まで引き抜かれた！
ヒーッ！
まさに悲鳴を上げるような気持ち良さ！
内臓が飛び出るかと思うような快感に襲われ、無意識にハメ潮が噴き出す！

そして、私を快樂地獄に突き落とす悪魔の瞬間がやってきた。

ズンッ！と一気にポルチオまで突き刺され、恥骨から突き上げてくる快感振動とポルチオを貫かれる快感が重なり、高速で渦を巻きながらせり上がってくる！一瞬のうちに悪魔的な快感に全身を襲われ、次の瞬間意識が粉々に砕け散る！
イ、イク！たった一突きでイカされる！

再び引かれ、ズブッ！と子宮の入り口まで貫かれる！
またイク！
もうイクための前奏はいらない。ポルチオを貫かれる度に絶頂する！

これダメ！弱いところ全部あたってる！

またズンッと突かれる！
イ、イク！！
体が吹き飛ばされるような快感！
恥骨をこれでもかと言うくらい打ちつけられ、その衝撃がポルチオ快感と重なり渦を巻いて喉元に込み上げてくる！
ああ！と大絶叫しながら、上半身をこれでもかというくらい仰け反らす！

ヤメて...、もう許して....

高速でペニスを引き抜かれ、再び貫かれる！
ポルチオからの絶頂の渦にみぞおちから脳天に向けて打ち碎かれる！
イ、イク！！
イッたままイカされる、腰を突き上げ上半身と腕をガクガクと痙攣させる、下腹部がビクビク痙攣し、太ももがブルブルと震える！

イってる、、もうイって！

ズブッ！とペニスをおまんこ奥深く突き刺される！
イク！！
戻ってこれないままイカされ、どんどん快感が体の中に蓄積されていく。

ヤメて！もうヤメて！中に出していいから、もうヤメて！

「これがトドメ！さあイケ！僕のモノになれ！」<これがトドメよ、私のモノになるのよ！
>

ペニスが更に増大し、おまんこが張り裂けんばかりに打ち広げられる。
そして、またピストン地獄が始まる。

ズンっと子宮の中までペニスに貫かれ、再び絶頂の渦に飲み込まれる！
イ、イク！！
無意識に相手の腰に脚を絡め大好きホールドする！首に腕を回しディープキスを求める！
ベロリとキスをされ、お互いの舌を舐め合い唾液を絡めあう。

どうして？！私こんな！イイ！もういい、何も考えられない！

ズブッ！ズブッ！とおまんこを突き刺され、ポルチオを貫かれる度にギュっと相手を抱きしめ、脚と腕に力が入る！
絶頂の衝撃を大好きホールドすることで耐えようとするけど、それも限界に達する。

ダメ、あと10回も貫かれたら私死んじゃう！
でもヤメて欲しくない！私を滅茶苦茶にして欲しい！
欲しい、中に欲しい！

自分で貫かれる回数を数え、完全敗北・アクメ落ちへの道を歩み始める。

10、ズブリとペニスが子宮の中に入ってくる！イク！快感が喉元まで一気にこみ上げ「イグーッ！！」と絶叫する！もうダメ！私壊される！
9、おまんこをグチョグチョに犯されるのがイイ！イグッ！もうイってる！ヤメて！これ以上イケない！
8、ズンッ！またイクッ！無慈悲にもピストン運動は止まらない！もうイってる！イってるからあ！
7、大好きホールドしながら脚をガクガク痙攣させ、唇をブルブル震わせる！強烈な一突きにまたもイカされる、イク、イク、イクーッ！！
6、グッチョ・グッチョが止まらない、このままされたら私死んじゃう！再びおまんこをズブリと貫かれ、一瞬で登りつめる、イク！私イク！
5、もう何回イったかわからない、イったままイカされ続けこれ以上もたない、ダメ！また私イカされる！ズブッ！イク！またイク！
4、もうダメ、ほんとダメ！もうイケない！怖い！イクの怖い！だからもう許して！ズブリ！イク！イク！イクーッ！！
3、こんなのヤダ！こんなの耐えられるわけない！ヤメ、もうヤメ、あ！イク！イ、イクーッ！！
2、中、中に！だからもうヤメ！あッ！ヤメ！イ、イクーッ！！
1、な、中に出して！も、もう、わ、わたし、滅茶苦茶にして！あー！！イ、イ、ゼロ！イクーッ！！全身の痙攣が止まらない！大好きホールドしながら、ベロチューキスで舌を絡め合う！脚を腰に絡めガチガチにホールドして中出しさせる！首に腕を回し相手をギューっと抱きしめる！

抱きしめたままベロチューキスを続ける、大好きホールドでいつまでも肌と肌を密着させる。

完全敗北してアクメ落ちしたのに、こんなにも心が落ち着いて気持ちいい。
これが負けるってこと？

絶対的強者に負けて、中出ししてもらうのが負けるってこと？
ボロボロにされて、体、滅茶苦茶にされたのに...？

ふっ、女になるって、こういうことだったんだ。
中出しして欲しいって、そういうことだよな。

はは、私、負けたんだ...。
でも、これなら何度負けても...。

監督、もう次は負けませんよ、もっと強い人、呼んで下さいね！

09 解除音声

こんな感じで、私はその後、絶叫系アクメ女優として輝き続けたわ。
でも、あの最初のアクメ堕ちが忘れられなかった...。
もう一度、あの完全敗北・アクメ堕ちをしたい、でももう叶わない。

そう悟った瞬間、私の中で何かが変わったの。

何度でも女を完全敗北させる男になってやろうって。
また男に戻ってあの喜びを何度でも女に味合わせてやろうって。

だから、今から私は性転換して男に戻る。
あれから時が経って、性転換は注射一本で出来るようになって凄く便利になったよね。

じゃあ、男に戻ろう。

まずは、自分でこのお腹の部分に注射するのね。
うん、全然痛くない。
5分ほどで効果が表れるから、それまでに心も体もリラックスさせて休ませて下さいと...。

よし、深呼吸をして気持ちを整えよう。

スー、ハー、スー、ハー、スー、ハー

うん、大夫落ち着いた。

今度はその状態で体の力を抜いていく。

顔

胸

おなか

両腕

両方の太もも

そして、膝から下の両脚

うん、ちょっと眠いくらい

どうかな？
効いてきたかな？

あ、効いてきた効いてきた。

どんどん胸が小さくなっていく、胸の上の重みがなくなってぺちゃんこの胸になる。
乳首が小さくなり、もうほとんど男の胸になっている。

凄い、アッと言う間だね。

ということは次はアソコかぁ。

お、効いてきた。

あっ、クリトリスがどんどん大きくなって！
うわぁ、あっと言う間におちんちんの形になったぞ。
しかも勃起してる！
この感覚久しぶりだなぁ。

う、卵巣がバギナを通っている。
あ、これは睾丸になるんだな。
おお、卵巣が小さくなってバギナの外に出てきた。
小陰唇と大陰唇に包まれて睾丸になったな。

うん、後は特に感じないけど、バギナが閉じて性器の男性化は終わりだな。

どれどれ、うん、尿道もきちんとペニスの先端に開いている。

筋肉はどうか？
手をグーパーと、開いて閉じてをやってみよう。
うん、女の時より握力が全然違う！
これぞ男のパワーってやつだな！

おお、あっという間に男に戻れた。
全然眠くないし、体力もかなりあるので今から勉強してもいいし、仕事に戻ってもいいよな。

長い間、女として生活してきたけど、今日からまた男だ。
女の気持ちも性感ポイントも体で理解したから、次は男として女を喜ばせよう。

よし、今日から第二の人生のスタートだ！
そして、また女に戻りたくなったら、この薬でいつでも女になろう。
ほんと、いい時代になったよな。

女としての自分は心の中にしまっておこう。
じゃあな、女だった自分、バイバイ！

